

2024年度第10回 独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センター受託研究(治験)審査委員会 会議の記録の概要

開催場所	南和歌山医療センター 地域医療研修センター	開催日時	2025年2月3日(月) 16時00分～16時30分
出席委員名	横山省三、古川順章、西林宏起、南宏典、塙路周作、水間かおり、岡井健二、団子誠二、和田順也、山本高正、垣本美穂		
議題及び審議結果を含む主な議論の概要	<p>【審議事項】</p> <p>議題① コントロール不良な喘息を有する成人及び青年患者を対象に、ブデソニド+グリコビロニウム+ホルモテロールフルマル酸塩水和物定量噴霧式吸入エアゾール剤 (MDI) の有効性及び安全性を、ブデソニド+ ホルモテロールフルマル酸塩水和物MDI 及びSymbicort®加圧式MDI と比較する、多施設共同、24～52 週 間の可変期間投与、ランダム化、二重盲検、ダブルダミー、並行群間比較試験 (KALOS)</p> <ul style="list-style-type: none"> 当該治験薬で発生した有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 <p>審議結果：承認</p> <p>議題② 急性非心原塞栓性虚血性脳卒中又は高リスク TIA の成人患者を対象とし経口 FXIa 阻害薬 asundexian (BAY 2433334) の虚血性脳卒中 二次予防効果を検討する多施設共同、無作為化、プラセボ対照、二重盲検、並行群間比較、イベント主導型第 III 相試験 (OCEANIC STROKE)</p> <ul style="list-style-type: none"> 当該治験薬で発生した有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 当該治験薬で発生した有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 当該治験薬で発生した有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 当該治験薬で発生した有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 当該治験薬で発生した有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 治験に関する変更申請の内容について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 <p>審議結果：承認</p> <p>審議結果：承認</p> <p>審議結果：承認</p> <p>審議結果：承認</p> <p>審議結果：承認</p> <p>議題③ リュープリン SR 注射用キット11.25mg 特定使用成績調査</p> <ul style="list-style-type: none"> リュープリンの特定使用成績調査の契約内容変更について報告した。 <p>議題④ イズカーゴ®点滴静注用 10mg 一般使用成績調査</p> <ul style="list-style-type: none"> イズカーゴの一般使用成績調査の実施要綱の改訂について報告した。 		

以上